



2009・6月号

# 月刊 窯ナビ

必ず良いことがある人のために送る！

DAICHIKUのお得意様向けニュースレター

ウラ面も情報満載

【発行日】2009年6月30日 【発行人】(株)大築窯炉工業 谷口浩司

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2192-5 TEL0296-72-1444 【ホームページ】<http://www.daichiku.jp/>

## やきものを通してデキルコト 湯川 武利氏&ラブボール実行委員会



LOVE BOWL展 in 笠間  
代表・企画・島崎・小乙里さん(右)  
実行委員長・湯川武利さん(左)



2009年8月19日～8月30日  
「ラブボールart cross/工芸の丘」  
陶芸家によるラブボール交流展  
会場・笠間工芸の丘(10:00～17:00)

秋元：陶芸の仕事で心に残る出来事がありますか？

湯川：第一に仲間達との出会いですね。Baca(坂東クリエイターズアカデミー)の活動をしながら地域との交流を深める事が出来ました。保育園児や障害者に陶芸を指導したり、彼らと自分たちのコラボで展示会等を企画して来ました。

秋元：その後、何か変わったことはありますか？

湯川：障がいのある子どもたちや保育園児の指導をするようになって、彼らの持つ才能に驚かされました。今まで以上にやきものが楽しくなりました。

秋元：仕事に対する抱負は？

湯川：現在は8月1日から行うラブボール展に向け奮闘中ですが、9月は笠間のギャラリーで個展、聖隷会保育園のワークショップもあります。

仕事に対しては今後も保守的にならず、色々な事にチャレンジして行きたいと考えています。長続きさせるには頑張り過ぎず自分達が楽しむ事だと思えます。

やきものを通して色々な人と関わって行きたいんです。

秋元：今年やりたい事は何ですか？

湯川：10月には新たに、陶芸家を含む様々なジャンルのクリエイターとの交流・活動を目的としたモノツクリ集団「デキルコト labo」を結成する予定です。また来年2月には、笠間工芸の丘で保育園児と保育士作品の展示空間をプロデュースします。そこには総勢695名の作品が展示されます。

秋元：大築窯炉のガス窯を選んだ理由は？

湯川：周囲の評判も良かったです。ダイチク窯が一番良いと確信して選びました。

秋元：大築のイメージは？

湯川：明るくて活気があり良いと思います。

新しい窯の開発等、チャレンジ精神もありますね。

一昨年の陶炎祭では光る煙突を作って下さりありがとうございました。



【ラブボール製陶所】

「LOVE BOWL」は、ものづくりの立場から力を合わせることで、世界のきがに苦しむ子供達に希望を届ける支援を目的とした、交流展です。

ひとりではなく多くの作家の参加による本企画は、共通の形状をキャンパスとして多彩な表現が生まれることが特徴です。

「みんながいるからデキルコト」をキーワードに、日常ではなく新しい試みの中から、共に力を合わせることでたくさんの笑顔に繋がる展覧会にしたいと思えます。

うれしい！楽しい！大好き！ダイチク！メッセージ！

湯川さん、島崎さん、LOVE BOWL実行委員会の皆様、お忙しい中、取材協力ありがとうございました。積極的に自分たちが動いて、笠間焼きや、物造りのPR活動をするという姿勢が良く伝わりました。自分達がまず楽しんで実行し、皆に伝えていきたいという前向きな姿勢、とても大切な事だと思えます。今後も長く活動を続けて行って欲しいです。応援しています！（秋元）

やきものを通して社会貢献する。すごく大事だと思います。ものづくりは、良いものを作ってもらうことが最大の社会貢献、プラス何かを社会に還元をすることは簡単なようできません。自分たちがデキルコトを無理しないで少しずつ、しかも楽しくやる。とかく自分たちにばかり目がいつてしまう仕事の世界で、仕事を通して少しでも社会の役に立ちたいという気持ちは必ず実を結びと信じます。笠間の良さ、やきものの楽しさを人とモノの両方から発信すること、長く続けてほしいと思えます。（谷口）



【茨城新聞の掲載記事】  
みんなすばらしい笑顔の写真を掲載していただきました。



## ユーザーさんの個展情報



### 河野カイ 作陶展

2009年7月19日(土)-8月14日(金)  
午前10時～午後6時\*最終日は午後3時まで  
笠間回廊ギャラリー門



茶碗 梅文鉢



東秋 花 器

### 島田琴絵・島田東秋 二人展

2009年8月1日(土)～8月16日(日)  
10:00am～17:30pm  
選りすぐった益子の陶芸品  
陶芸広場つかもと  
ギャラリーびんろう  
栃木県芳賀郡益子町益子3330-1  
TEL0285-72-5656

### 高野利明 作陶展

2009年7月18日(土)-月31日(金)  
午前10時～午後6時  
\*最終日は午後3時まで  
笠間回廊ギャラリー門  
茨城県笠間市笠間2230-1  
笠間芸術の森公園前(ギャラリーロード内)



## なるほど！釉陶里炉・学習帳 ガス窯焚きに必要な空気量は

### 【理論空気量】

プロパンガスの場合、完全燃焼に必要な空気量(理論空気量)は、プロパンガス1に対して空気約24となります(ブタンガスでは約31)。理論空気量が24より少なくなると、炎は還元炎になってゆき、24以上になれば酸化炎となります。実際にガス窯を焚く場合は、このような理論空気量云々などということは、全く考えなくてもよいことですが、燃焼の仕組みを理解すると安全な窯焚きと、やきもの制作が可能です。

### 【酸化炎焼成時の空気取り入れ】

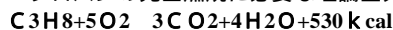
酸化炎焼成を例にとって考えると、まず、0～970 まではバーナーの炎は酸化炎で焼成します。

ダンパーの開度は、色見穴から出る窯の空気(炉圧)が0になるように開くと、窯の温度はスムーズに上がってゆきます。この時が、適正な空気を炎に供給している状態(完全燃焼)と考えられます。酸化炎焼成では、以後もこの状態を維持してあげればよいのです。その後、ガス圧を上げないで窯焚きを続けると、窯の温度はいずれ停滞します。温度が停滞したらガス圧を上げますが、こうするとガスの供給だけが多くなり、燃焼に必要な空気量が不足してしまいます。ガスの供給量に対して空気量が不足すると炎は還元炎になってしまうので、酸化炎にするために必要な空気を入れてあげなければなりません。その操作が、ダンパーを開く、ということです。つまり、ダンパーを開き、熱を煙突から出してあげるといことは、燃焼に必要な空気(酸素)をバーナーの火口付近から二次空気として炉内に取り込んであげる、ということになります。

(次回は、「還元焼成時の空気取り入れ」について)

### 【理論空気量の計算方法】

プロパンの完全燃焼に必要な理論空気量



この式では、プロパン1モルを完全燃焼させるためには、酸素(O<sub>2</sub>)を5モル必要とすることと、その時の発熱量はプロパン1モルにつき530 kcalであることが示されている。従って、空気中の酸素含有量は21%(容量)であることから、理論空気量は次のようになる。

$$5\text{モル} \div 0.21 = 23.8 \quad 24\text{モル}$$

体積に換算すれば、プロパン1立方メートルを完全燃焼させるためには、24立方メートルの空気が必要であることになる。

(液化石油ガス設備士ハンドブックより)

## 陶芸羅針盤 厚さ6mmの棚板 エコと省労力+窯単価アップ

### 特徴と効果

省エネの効果あり エコである

棚板の厚さが半分程度ということは、焼成時、棚板に吸収される熱量も半分。

窯の積載スペースが増える 1窯当りの金額アップ

例えば、10段棚組みをしたとします。1枚当り5mm薄い場合、50mm×棚板枚数のスペースが確保可能。

少労力 作業性の向上

同じサイズの11mm棚板は約5.3kg、6mm棚板は3.1kgで2.2kg(40%)軽いので、窯詰めが楽になります。

問題の強度は 既存品より優秀な試験値

○抗折強度:6mm品 > 500kg/cm<sup>2</sup>(通常品 > 420kg/cm<sup>2</sup>)

○圧縮強度:6mm品: > 1500kg/cm<sup>2</sup>(通常品: > 1300kg/cm<sup>2</sup>)

○高温抗折強度:6mm品 > 600kg/cm<sup>2</sup>(通常品: > 500kg/cm<sup>2</sup>)

実際に使用してみて

○弊社での使用環境で外観は全く曲っていない印象です。

450×400×6サイズ、0.4m<sup>3</sup>ガス窯、1～4窯/月、使用年月:1年2ヶ月

こんな方にお薦めです!

○台車でない窯を使っている陶芸家○買い替え、補充を予定している陶芸家○腰などを悪くした経験のある陶芸家

○新しく棚板をそろえようとしている陶芸家○窯単価を上げて、省エネをしたいと考えている陶芸家…



左が既存の11mm棚板  
右が6mm棚板

### 編集後記「あとかんげん」

芸能界で今年還暦を迎える人の中に、矢沢永吉がいる。矢沢永吉といえばロック界の大御所である。その彼がテレビインタビューの中でこう言った。「俺にはロックしかないということに最近気がついた」と。「えっ?すごい!」と思ったのと同時に、少しホッとした。世の中のほとんどの永ちゃんファンは、「矢沢永吉 - ロック=0」と思っているに違いない。にもかかわらず彼は「自分 - ロック = & # % @ \$ ...」と考えていた。「不惑」と言う言葉を思い出した。論語の中で孔子が「四十歳の時に、狭い見方に捕らわれることなく、心の迷いがなくなりました」と言っている。ロックしかないということに気がついたことは「迷いがなくなった」という意味にとれる。これから先、「俺はロック以外、歌いませんよ」「ロックの道を極めるんだ」という永ちゃんなりの宣言なのだろう。どんなに狭いニッチな分野でもダントツの1位になってしまうと、そういう人に対して誰も意見を言わなくなるそうだ。しかも、別な分野の最高人が集まってきて、すごい人間関係ができるという。中国の卓球は世界一だが、バックハンドは練習しなかったそうだ、不得意だから。卓球というニッチな競技、無敵のフォアハンド、自信を持って試合に出る = 世界一、という図式だ。人が一番強くなれるのは、覚悟を決めた時という、矢沢永吉はロックで覚悟を決めた。覚悟を決めないでいると、いつまでも中途半端でしかいられない。覚悟を決めるということは、何かに集中して、自分らしさを追及することなのかもしれません。